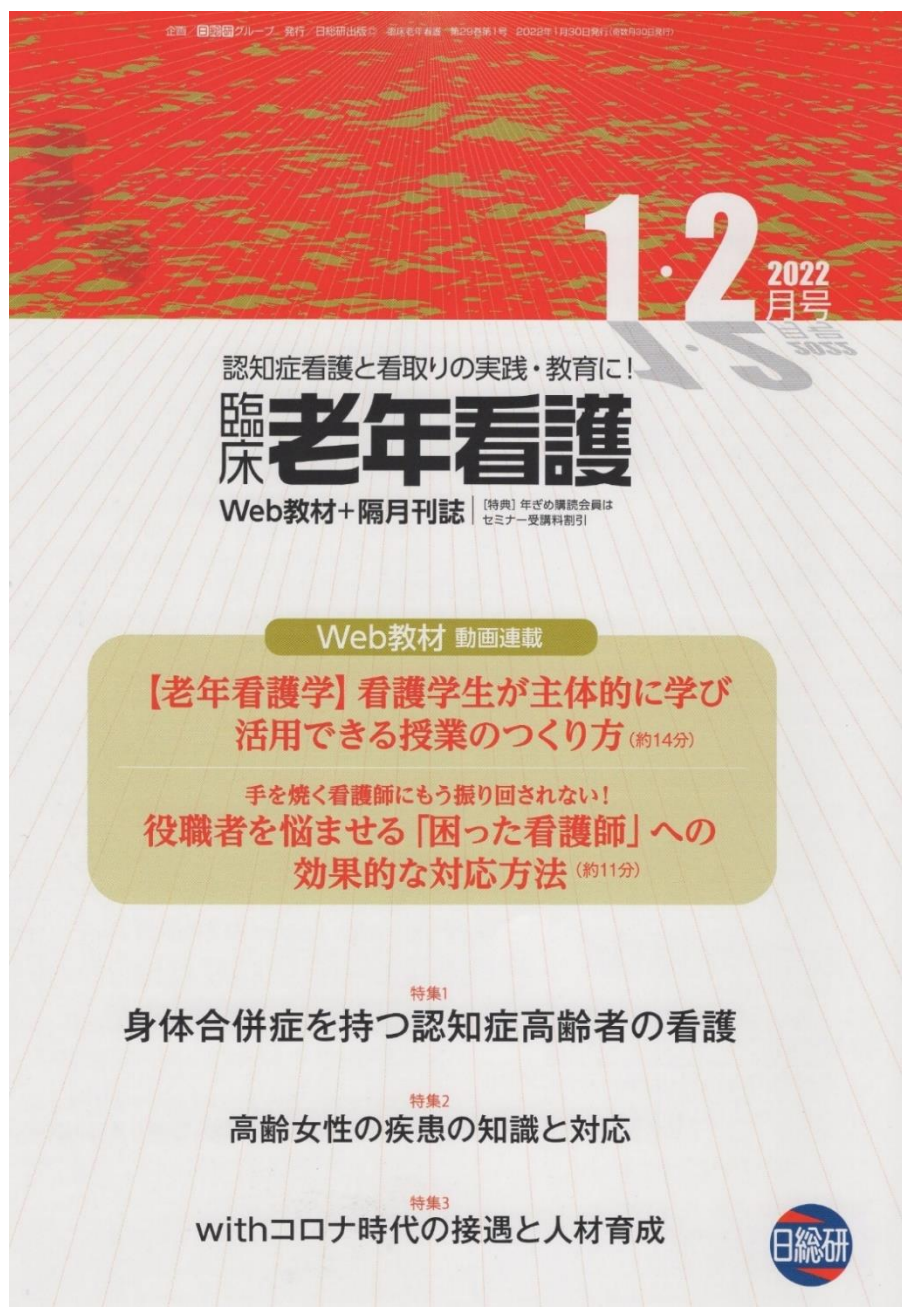


教育・研究活動の紹介 【コロナ禍の医療接遇】

臨床検査学科教授 樋本尚志

この度、「臨床老年看護(日総研出版)29巻1号」の特集「with コロナ時代の接遇と人材育成」に土居先生と寄稿した記事が掲載されました。土居先生にはご多用のところ、毎年、接遇講習の講師として本学に来ていただいています。本学図書館にも雑誌を寄贈しましたので、興味のある方は是非ご一読ください。



withコロナ時代の接遇・マナー



土居珠見 人材育成のスペシャリスト
株式会社ミズ・オフィス 代表取締役

役員秘書、ビジネスマナー指導の経験を活かし、各企業および学校・官公庁の接遇トレーナーを務める。現在は、若年者の心のサポートに努め、日々、悩める人たちのカウンセリングを年間約2,000人に行っている。産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士資格を取得。国家資格キャリアコンサルタント演習講師を務める。メンタルヘルスマネジメント、リーダー指導、人材育成コンサルタントを通じて、各業界のトップマネジメントや働きやすい環境づくり、次世代の人材育成に意欲を燃やす。



樋本尚志
香川県立保健医療大学
臨床検査学科 教授

1990年、香川医科大学（現・香川大学医学部）卒業。1994年、同大学大学院博士課程修了、医師、医学博士。香川大学医学部附属病院総合診療部講師を経て、2014年から現職。専門は総合内科、総合診療医学。

本稿では、withコロナ時代の接遇・マナーについて考えます。

まずは“人材育成のスペシャリスト”が接遇、オンラインマナー、SNSマナー、メンタルヘルスのセルフケアについて解説した後、続けて“医師の立場から”コロナ禍で実践できる医療接遇について解説します。